

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km 圏内海域 > < 1/2 >

(データ集約 : 7/4)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (B q / k g (生)) (半減期)		
			C s - 1 3 4 (約2年)	C s - 1 3 7 (約30年)	C s 合計
アイナメ(筋肉)	木戸川沖合2km付近(T-S5)	平成24年6月16日	210	340	550
コモンカスベ(筋肉)	木戸川沖合2km付近(T-S5)	平成24年6月16日	400	600	1000
シログチ(筋肉)	木戸川沖合2km付近(T-S5)	平成24年6月16日	10	17	27
ババガレイ(筋肉)	木戸川沖合2km付近(T-S5)	平成24年6月16日	390	570	960
ヒラメ(筋肉)	木戸川沖合2km付近(T-S5)	平成24年6月16日	77	130	207
マコガレイ(筋肉)	木戸川沖合2km付近(T-S5)	平成24年6月16日	330	490	820
アイナメ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年6月18日	51	83	134
アブラツノザメ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年6月18日	ND	ND	ND
エゾハリイカ(全体)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年6月18日	ND	ND	ND
カナガシラ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年6月18日	21	32	53

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約4.6Bq/kg(生)、Cs-137が約5.1Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計:100Bq/kg。

分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km 圏内海域 > < 2/2 >

(データ集約 : 7/4)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (Bq / kg (生)) (半減期)		
			Cs - 134 (約2年)	Cs - 137 (約30年)	Cs 合計
キアンコウ(全体)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年6月18日	5.2	6.9	12.1
コモンカスベ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年6月18日	120	170	290
ジンドウイカ(全体)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年6月18日	ND	ND	ND
チダイ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年6月18日	5.4	9.8	15.2
ババガレイ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年6月18日	41	59	100
ヒラメ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年6月18日	34	41	75
マコガレイ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年6月18日	48	76	124
マトウダイ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年6月18日	5.7	6.8	12.5
ミスダコ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年6月18日	ND	ND	ND
ムシガレイ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年6月18日	ND	6.4	6.4

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約4.0Bq/kg(生)、Cs-137が約4.3Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：100Bq/kg。

分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

魚介類サンプル写真（平成24年6月16日、18日採取）

～ 木戸川沖合2km付近（T-S5）・2F敷地沖合10km付近（T-B4）～

1. アイナメ



2. コモンカスベ



3. シログチ



4. ババガレイ



5. ヒラメ



6. マコガレイ



7. アブラツノザメ



8. エゾハリイカ



9. カナガシラ



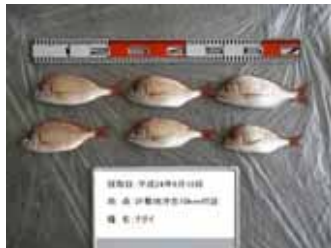
10. キアンコウ



11. ジンドウイカ



12. チダイ



13. マトウダイ



14. ミズダコ



15. ムシガレイ

